

2. 整備事業

(千葉県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)			完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				被災前22年度	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費					その他
旭市	株式会社千葉県食肉公社	畜産物共同利用施設整備(大動物インクライン改修工事一式)	震災によると畜ラインの被害部分を改修することで、と畜能力の維持を図る。	1日最大120頭	1日最大120頭	1日最大120頭	1日最大120頭	1日最大120頭の維持	100%	破損したと畜ラインの改修により、と畜能力(1日最大120頭)を維持でき、作業の安全性も確保された。	畜産物処理加工施設(大動物インクライン改修工事一式最大と畜能力120頭/日の維持)	7,875,000	3,750,000	0	0	4,125,000	平成24年3月27日	破損したと畜ラインの改修により、と畜能力(1日最大120頭)を維持でき、作業の安全性も確保された。	本事業の実施により、震災後もと畜能力の維持及び作業の安全性を確保することができた。	
旭市	株式会社千葉県食肉公社	畜産物共同利用施設整備(牛肉の放射性物質の検査室一式)	検査機器(2台)の1日当りの処理能力80頭が見込まれるため、検査に必要な規模の検査室を整備する。	0頭/日	86頭/日	120頭/日	122頭/日	80頭/日	152%	検査機器(2台)の1日当りの処理能力80頭を実施	畜産物処理加工施設(検査室一式42㎡最大検査頭数80頭/日)	4,042,500	1,925,000	0	0	2,117,500	平成23年11月30日	80頭分の検査体制の整備により、外部機関への委託分40頭を含め、と畜頭数120頭分の全頭検査を可能とし、生産者が円滑に牛を出荷する流通体制を構築できた。	検査室の整備により、1日のと畜頭数分の検査体制が整った。また、千葉県産牛肉の放射性物質安全チェック制度への協力を通じて県産牛肉の安全性の確認などに寄与している。	

都道府県平均達成率	126%	総合所見	各事業それぞれ目標を達成し、県全体でも126%の達成率となった。
-----------	------	------	----------------------------------